

おひさま ニュース

2016

4月号
春号

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：水谷正彦 編集責任者：根本達也

副院長 就任のご挨拶

副院長 福内正義



平成27年10月より副院長に就任いたしました。専門は整形外科で、平成16年7月より亀田総合病院整形外科に勤務、平成23年10月より当院整形外科部長として診療にあたっています。

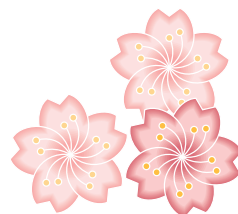
当院はご高齢の患者さまが多く、個々に健康状態や社会的背景が異なり、同じように治療が進むケースは少なく、他科医師やリハビリ・看護スタッフ・ソーシャルワーカー等、他職種間の連携を取りながら診療しています。また亀田総合病院より小規模ですが、みなさまに安心して受診していただける病院だと自負しています。4月は年度始めであり、新しく迎えた職員と共に病院理念の「明るい笑顔で最適な医療を提供いたします」を実現したいと思います。

今回は地域医療と救急医療について紹介をいたします。地域医療とは、包括医療を地域住民に対して社会的に適応し実践することと定義されています。包括医療の中には保健予防や疾病治療、後療法及び更生医療があります。言葉にすると難しく感じますが、保健予防はインフルエンザワクチンや検診、疾病治療は病気にかかったときの診療等で、どれもみなさまの身近にあることばかりです。地域医療の充実は、地域のみなさまが安心して生活していく中で不可欠なものです。特に、夜間や休日の救急医療は重要です。もちろん病

院にかからず健康に生活できればよいのですが、いつ病気やけがになるかという不安をかかえている人もいます。何かのときに受診できる救急病院があることが、安心して生活できるかを左右する重要な点です。

当院のような救急医療を行う病院を一般的に急性期病院と呼びます。全国には多数の急性期病院がありますが、この内8割が赤字経営と言われています。それだけ救急医療を維持することは多くの人手が必要で大変なことです。当院では幸い良好な経営状態ですが、救急医療の継続は医師を含めた医療スタッフの努力に頼ることも多く、当院でも夜間当直医師のほとんどは次の日も夕方まで勤務しているのが現状です。

千葉県は人口10万人当たりの医師数172.7人で全国45位、一般病床数558.5床で44位、療養病床数155.3床で45位、一人当たりの医療費は年間41万5千円と全国最下位で、医療過疎県と言われています。しかし、安房郡市では人口10万人当たりの医師数が394.7人と全国平均の226.1人を大きく上回っています。これは当院の関連施設でもある亀田総合病院の存在が大きく影響していると思われます。当院は亀田総合病院からの派遣医師数が多く、比較的医師数は恵まれています。ただ、今年度は診療科によっては医師数の減少を余儀なくされる科もあり、みなさまにはご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。引き続き亀田総合病院と連携し、365日救急医療をご提供できるよう努めていきたいと思っています。



診療科のご紹介	総合診療科	呼吸器科	消化器科	循環器科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	小児科
	腎臓内科	腫瘍内科	神経内科	膠原病内科	糖尿病甲状腺内分泌内科	外科
	整形外科	泌尿器科	乳腺科	スポーツ整形	皮膚科	救急科
	ペインクリニック	透析科	麻酔科	リハビリテーション科		

皮膚科



平成27年1月より当院皮膚科に勤務しております。はじめの頃は、地域での周知度が低く閑古鳥が鳴いていましたが、今は患者さまが少しずつ増えて充実して参りました。声が大きく、会話が他人へ聞こえてしまうのご指摘を1度受けたことがありましたので、その後はなるべく小さな声で話すように日々心がけております。

地域の人口特性や、水質のせい、^{かんびしょう}乾皮症の患者さまが多いことに驚かされております。その一方で救急科からの紹介で最も多いものは、アテローム（粉りゅう）が潰れてしまったものです。次に多いのは、^{ほうかしきえん}じんま疹と下腿の蜂窩織炎、浮腫です。

地域的に、日光による皮膚障害がもっと多いかと懸念していましたが、それほどでもない

ことに驚きました。今までの診察では診る機会がなかった、ムカデ（はがち）刺症、エイ刺症は当地ではじめて診ました。私自身高校卒業まで、館山に住んでいましたが、高校3年の夏に電気くらげ（カツオノエボシ）に刺され、今でもぎざぎざの^{はんこん}癬痕が残っております。



内科関連疾患として多いのは糖尿病性の^{えそ}壊疽、感染症ですが、もっとも注意していることは薬疹^{えき}を見逃さないことです。薬疹は命に関わる状態に進展してしまうこともありますので、疑われるときは早めの受診をおすすめいたします。

患者さまが診察室を出るときに、来て良かったと満足して帰ってもらえるような医療を提供することが私のつとめと考えております。私がお役に立つことがありましたら、どうぞ診察にいらしてください。

※薬疹 薬の副作用が皮膚の反応として現れるもの

くらもと ようこ 部長
藏本 陽子 皮膚科専門医

出身地・館山

趣味・食べること ・家庭菜園
・料理研究（味に自信なし）

房総の好きなところ

- ・海に沈む時に、ジュジュ（熱した鉄球を水につけた時のような）って聞こえてきそうな夕日
- ・月や星がきれいなところ



薬剤室便り 飲み忘れや飲み残しの薬がありませんか？

医療機関から出されたものの、飲み忘れなどで残っている薬がたくさんあることが、現在社会問題になりつつあります。ある調査では年間400億円以上の薬が無駄になっていると言われています。高齢化に伴い医療費はうなぎのぼりに増えていますが、その中でも薬剤費は大きな部分を占めています。

指示通り薬をきちんと飲んで治療することがとても大切なことです。しかし、飲み忘れや、頓服で飲まなかったりして薬が余る時は、次回診察時に医師に申し出て、薬を減らしてもらいましょう。薬には使用期限があります。いつまでも古い薬を保存しないように気をつけてください。



健康増進への取り組み 公衆衛生部 健診室 佐藤 潤一

安房地域医療センターでは、「地域住民の健康維持のために意義ある住民健診を提供いたします」という病院基本方針を念頭におき、地域に密着した健診事業を展開しています。

人間ドック・個人健康診断及び、「労働安全衛生法」に基づき、安房地域の約360施設を対象に事業所や市町職員・学校教職員の健康診断や「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく事業として、安房地域の住民を対象に総合健診、その他各種がん検診（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん・肝炎ウイルス・骨粗鬆症）を実施しています。

健康診断事業については、地域の企業や老健施設を巡回形式で、年間113施設を出張健診として実施しています。

総合健診事業については、毎年5月～10月の期間で安房3市1町の14会場を75日間、集団健診として実施すると共に、6月～12月の期間で施設健診としても実施しています。

また、「学校保健安全法」に基づき、安房地域の幼稚園・小学校・中学校・高校の児童・生徒を対象とした健康診断（学童尿検診・心電図検診）や小児生活習慣病検診を実施し将来の健康



障害を予防する活動に取り組んでいます。

平成27年4月より亀田グループと共同で新しい健診システムの運用を開始しました。この健診システムの導入により将来的には亀田グループと健診データの共有化を図り、受診者のみなさまがグループ内のどの施設を受診しても過去の結果や画像・判定が閲覧できる環境整備を目指しています。

現在では、病的死亡の原因の多くは、がん、心疾患、脳血管疾患や生活習慣病などとなっています。これらの病気や体調不良をさけるには、日頃からの予防が大切となります。病気を予防するために、また、ご自身の健康管理にお役立ていただくためにもぜひ健診をお勧めします。



健診と検診??

- 健診とは健康であるか否かを確認するものです
- 検診とは特定の疾患を早期発見し治療することを目的としています

健診予約 直通ダイヤル ☎0470-25-5120
申し込み受付時間 平日13:00～16:00



平成28年度の検診日程表

特定健診

	実施期間	
館山市	5月10日～6月14日	27日間
鴨川市	6月17日～7月5日	15日間
南房総市	8月23日～10月16日	27日間
鋸南町	10月20日～10月26日	6日間

乳がん検診

	実施期間
館山市	6月1日～2017年1月31日
鴨川市	6月1日～2017年1月31日
南房総市	6月1日～2017年1月31日
鋸南町	5月16日～2017年1月31日

子宮がん検診

	実施期間
館山市	6月1日～2017年2月28日
鴨川市	6月1日～2017年2月28日
南房総市	6月1日～2017年2月28日
鋸南町	6月1日～2017年2月28日

大腸がん検診

	実施期間
館山市	10月17日～10月28日
鴨川市	11月22日・25日、11月29日～12月5日
南房総市	6月6日～6月9日、6月13日・14日・15日・20日 6月22日・23日・27日、7月4日～7月7日
鋸南町	7月26日・27日、8月2日・3日

骨粗鬆症検診

	実施期間
館山市	7月20日～7月22日
鴨川市	4月20日～4月22日
南房総市	10月27日～10月28日、11月1日～11月2日
鋸南町	7月15日

本年度も病気の予防、早期発見、早期治療を目的として地域住民のみなさまを対象に、5月から10月にかけて住民検診を実施いたします。

また、各種がん検診は、日程表のとおり実施を予定していますので、お申し込み等詳細については、最寄の行政機関へお問合せください。



外来待合室 車椅子待合スペースができました

外来患者さまの増加に伴い、待合室が大変混み合いご迷惑をおかけしています。また通路も狭く、特に車椅子の患者さまやお付き添いの方々は、不便を感じるが多いと思います。外来待合室をご利用されるみなさまの安心安全のため、車椅子待合スペースを設けました。壁に車椅子待合マーク(右図)が貼られている付近は、車椅子専用待合場所としました。各診察室からの呼び出しも聞こえる範囲です。ご利用に際してのご理解ご協力をお願いいたします。



当院歯科衛生士 研究会で発表

1月28日(木)に千葉県南総文化ホールで行われた南総再生歯科医療研究会で、リハビリテーション室の山川里栄子歯科衛生士と根本達也言語聴覚士が「当院における歯科衛生士の仕事」という演題の発表をしました。安房地域医療センターには歯科はありませんが、リハビリテーション室に歯科衛生士が配属されており、おもに入院患者さまのケアに関わっています。発表では、病棟における歯科衛生士の仕事として口腔ケア、かかりつけ歯科医との連携などを紹介しました。

編集 後記

日本では、ありがたいことに1年のうち2度も気持ちを新たにすることがあります。1度目は新年、2度目は4月です。私の場合、新年には昨年できなかったことを今年こそはやるぞ! とか、もっといい結果を出したい! などの「チャレンジ」です。4月は、新しいことを始めてみようかと「はじまり」を意識します。



CLDMAT 隊員 養成研修に参加

千葉県地域災害派遣医療チーム

1月19日と20日に、柏市のさわやか県民プラザでCLDMATの隊員養成研修が行われました。CLDMATとは、県内で災害が起きた場合、すぐに活動ができる専門的な訓練や研修を受けた千葉県地域災害派遣医療チームのことです。

当院からは、新たに編成されたチームの太田智之医師、安藤崇之医師の他看護師2名、業務調整員1名の計5名が研修を受けました。また、国内全域を活動範囲とし、すでに活動経験のある日本DMATのメンバー不動寺純明亀田総合病院救命救急センター長他2名が講師として参加しました。2日間の研修では、講義や実践訓練など、多くの人たちが見守る中、本番さながらの訓練が行われました。



おつかれさま 4号車

総合検診や院外での胃がん検診でおなじみの胃部検診車4台のうち4号車が平成27年度をもって引退しました。4号車は平成4年度の導入から永きにわたって活躍しました。当院の検診車としては、フィルム撮影による最後の検診車で、平成28年度からは全てデジタル撮影車となります。

新しい年度がスタートしました。安房地域医療センターのチャレンジをはじめ、お知らせなどの情報は、おひさまニュースやホームページでお伝えしています。春の野山のように、彩り豊かで盛りだくさんのページ作りにスタッフ一同励んでいきます。



じゅんべりい